



石教研 理科(小)部会



理科部報



2026.7.14 No.1



AI時代になっても「やってみなくちゃ わからない！」

部長 渡邊 和宏

令和8年度を迎え、会員の皆様におかれましては、それぞれの学校で新たな子どもたちとの出会いの中、日々の授業実践や学校・学級経営に取り組まれていることと思います。今年度、理科(小)部会は129名で活動をスタートいたしました。一年間、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さてご存じの通り、次期学習指導要領の改訂に向けた議論が進められており、生成AI時代に求められる情報活用能力や、探究的な学びの充実が重要な視点として示されています。また、子ども自身が課題を見だし、教科横断的な視点を生かしながら学びを深めることや、身に付けた知識を実際の場面で活用することが、これまで以上に重視されようとしています。

職員会議や校内研究の資料などでも、AIによる作成物を当たり前に見るようになりました。仕事にAIが欠かせないと感じる部会員も増えてきたことでしょう。理科の予備実験でも、やりたい実験について質問すれば、事細かにノウハウを教えてください。しかし、その通りの結果になるとは限りません。AI時代といっても、やっぱり

「実際にやってみなくちゃわからない」→理科に置き換えた場合の「実際に自然に働きかけ、観察や実験を通して事実を捉え、自分の考えを形成していく学びの価値」はますます高まっているように感じます。

理科(小)部会で長らく重点としてきた「理科の見方・考え方」も、そのような学びの基盤となるものですが、今年度でこの重点も一区切りする予定です。次年度の重点を視野に、研究を進める必要があります。その意識をぜひ、部会員全員で共有したいです。私たちが日々、子どもに促す問題解決のプロセスを、私たちも実践するべきですね。

- ①目の前の子どもたちの姿から問題を見出し、
- ②解決の手立てを予想して授業をデザインし、
- ③授業中やその後の子どもたちの姿という結果を捉え、
- ④次の成長に向けての課題を考察し、より妥当な今後の実践を生み出す。

今年度も役員一同、石狩管内の子どもたちの豊かな学びを支える理科教育の充実の一助になれるよう力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

【令和8年度 石教研理科小部会 役員・委員】

役 員	部 長	渡邊 和宏	石狩 南線小
	副部長	石井 保成	江別 大麻小
	事務局長	秋山 駿介	恵庭 島松小
	事務局次長	山谷 健一郎	千歳 末広小
	研究員	湯浅 萌美	江別 江別第一小
	教課委代表	茂木 勇人	千歳 北陽小

推 進 委 員	千 歳	山本 頼門	泉沢小
	恵 庭	荒屋 純一	柏小
	北広島	佐藤 香織	大曲東小
	江 別	二宮 友東子	江別第二小
	石 狩	野村 類	紅南小
	当別・新篠津	中山 喜弘	とうべつ学園

教育課程委員	茂木 勇人	千歳 北陽小
	津村 玲那	当別 とうべつ学園
	荻野 達樹	新篠津 新篠津小
	齋藤 真由美	恵庭 島松小

【令和8年度の活動計画について】

I. 研究主題

見通しをもった実験・観察を通して、自ら問題解決し、自己の成長を実感できる子どもの育成

II. 研究の重点

理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって問題を追究し、解決する授業づくり

III. 令和8年度部会予算について

石教研専門部会役員研修会で下記のように予算配分がありましたのでお知らせいたします。

石教研研究費… 76,890 円

研修センター受託研修費…150,590 円

合 計…227,480 円

IV. 各市町村部会員数

	千歳	恵庭	北広島	江別	石狩	当・新	合計
部員数	31	22	14	28	25	9	129
3年	2	0	0	3	1	0	6
4年	3	2	1	1	3	0	10
3・4年	0	0	0	0	1	0	1
5年	4	3	1	1	2	2	13
6年	3	4	2	4	1	1	15
5・6年	0	0	0	1	0	0	1
1年	1	1	0	2	0	1	5
2年	2	1	1	0	3	2	9
1・2年	0	0	0	0	0	0	0
特支	1	1	3	0	0	1	6
担任外	16	11	9	16	14	3	69

今年度は部会員129名です。いつも部員の皆様の熱心な研究への取り組みに感謝しています。

今年度も部員の力を合わせ、実りある研究をしていきましょう！！

また、理論研修会、実践記録や授業展開編、実験アイディア集、ホームページなどから、部会員以外の先生方にも理科教育に興味を持っていただければと思います。